

記載例

証票再交付申請書（後援団体用）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長あて

- ①本人の署名
- ②記名+押印
- ③記名+本人確認書類

※名義人本人が、窓口に来庁した上で本人確認書類を提示。

※名義人本人以外が来庁する場合は、別途委任状が必要。

のいずれかの方法で真正性の確認が必要です。

後援団体の名称 群馬太郎後援会

主たる事務所の所在地 高崎市高松町〇-〇-〇

(電話 027 - 321 - 〇〇〇〇)

代表者の氏名 烏川 渡

烏山

公職選挙法施行令第110条の5第4項の証票の再交付を受けたいので、同条第5項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 推薦し、又は支持する候補者等の公職の種類

- 衆議院議員（小選挙区） 参議院議員（選挙区） 知事 県議会議員

2 再交付を受けようとする理由

- 紛失 汚損
 その他（

理由が「紛失」以外の場合は、再交付により失効する証票を返還してください。なお、返還できない場合（「紛失」の場合や証票の返還がこの申請書の提出より遅くなる場合も含む。）は、「証票を返還できない理由書兼宣誓書」を併せて提出してください。

「その他」の場合は、（ ）内に理由を具体的に記入してください。

3 再交付により失効する既交付証票の番号並びに立札及び看板の類を掲示する事務所の所在地裏面のとおり

上記の後援団体による本件証票交付申請については、公職選挙法施行令第110条の5第5項の同意をします。

なお、私に係る後援団体の全てを通じて既に交付された証票の総数は 6 枚です。

「代表者の氏名」欄と同様の方法で真正性の確認が必要です。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

候補者等の氏名 群馬 太郎

群馬

申請時点で交付を受けている枚数を記入してください。

（事務処理欄）

(交付年月日) 令和 年 月 日 (残数) 枚

記入しないでください（選挙管理委員会が記入します。）。

